

(別紙様式)

( 悪性腫瘍の術後 ・ 原発性 ) 弾性着衣等 装着指示書

|                |   |    |     |
|----------------|---|----|-----|
| 住 所            |   |    |     |
| 氏 名            |   | 性別 | 男・女 |
| 生 年 月 日        | 明・大・昭・平・令   | 年  | 月 日 |
| 診 断 名          |   |    |     |
| 手術等年月日         | 昭・平・令   | 年  | 月 日 |
| 手術の区分          | ( 鼠径部 ・ 骨盤部 ・ 腋窩部 ) のリンパ節郭清を伴う<br>悪性腫瘍 (種類)               |    |     |
| 装着指示日          | 令和  | 年  | 月 日 |
| 患 肢            | 右上肢 ・ 左上肢 ・ 右下肢 ・ 左下肢                                     |    |     |
| 弾性着衣等<br>の 種 類 | ストッキング ・ スリーブ ・ グローブ ・ 包帯 (※5)<br>( 着 ) ( 着 ) ( 着 ) ( 着 ) |    |     |
| 着 圧 指 示        | mmHg  |    |     |
| 特 記 事 項        |   |    |     |

※記載上の注意

- 1 各欄に記載又は該当項目に○を付すこと。
- 2 「手術等年月日」欄について、悪性腫瘍の術後の場合、手術年月日を記載する。なお、他院で術を行った等の理由により詳細な日付は判らない場合は、「何年何月頃」との記載でも良い。また、原発性の場合、診療開始日を記載すること。
- 3 「手術の区分」欄の「(種類 )」について、悪性腫瘍の具体的な種類を記載すること。
- 4 「患肢」及び「弾性着衣等の種類」が複数ある場合は、その内訳を「特記事項」欄に記載すること。
- 5 「弾性着衣等の種類」が包帯の場合は、包帯の装着を指示する理由を「特記事項」欄に記載すること。
- 6 「着圧指示」が30mmHg未満の場合は、装着が必要な理由を「特記事項」欄に記載すること。

本患者は、上記疾患のため、患肢を常時圧迫する必要があり、弾性着衣等の装着を指示しました。

令和 年 月 日

医療機関名  
所在地  
電話番号  
医師名